

## 小野田赤十字病院 看護師が、 石巻赤十字病院支援に出発

平成23年4月18日（月）



石巻赤十字病院は、2年前に新築移転し耐震構造であり、その結果市内で唯一機能している病院のため、宮城県石巻医療圏では、地震発生から4月13日(水)までの約1ヶ月間の救急車の搬送件数は、過去最多だった昨年の8,048件の4分の1以上の2,370件でその9割以上が搬送されたような状態です。職員自らも被災しているにもかかわらず、通常以上の患者搬送。これは、外来だけでなくそれに比する入院患者の増加もあり、ほと

んど不眠不休の状態。そのため、日本赤十字社では、全国の赤十字病院より石巻赤十字病院への病棟支援を行っており、小野田赤十字病院でも看護師3名が、往復時間あわせて4月18日～25日の間支援に向かいました。

今回もANAグループの渡航協力により、無償で宇部空港より羽田空港まで行き、そこからは、バスで石巻赤十字病院へ向かいました。

支援部署は、消化器外科・内科泌尿器科・循環器科で、支援時間は、7:00～13:30と17:30～19:30。

支援内容としては、洗面、食事セッティング・配下膳、食事介助、口腔ケア、保清、褥瘡処置、吸引、血糖チェックなど。内容自体は、いつもと特段変わったことはないのですが、配置も分からない初めての場所で、初めての患者さんへの対応ということで、いつも以上の神経を使いました。



平成23年4月25日（月）

行きと同様の経路で帰路につき、病院に到着しました。